

2018年4月16日

倶知安町長 西江栄二 様  
倶知安町教育委員会教育長 田中洋子 様

## 絶滅危惧種イトウ尻別川個体群保全・復元の要望

尻別川の未来を考えるオビラメの会  
会長 草島清作 事務局長 川村洋司  
048-1511 北海道虻田郡ニセコ町ニセコ315-198  
電話090-8279-8605 kawamura3795@castle.ocn.ne.jp

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

いつも当会のイトウ保護・復元活動にご支援をいただき、まことにありがとうございます。

当会は2011年より、4月～5月のイトウ繁殖期に合わせ、尻別川流域にわずかに残る自然繁殖地の24時間監視「見まもり隊」活動を継続しています。地元・倶知安町の住民のみなさまをはじめ大勢の方々のご理解を得て、7期連続でイトウ自然繁殖環境保全を達成しました。しかし、「繁殖親魚を脅かさないで」との呼びかけには、依然として制度的裏付けがありません。ボランティア頼みのパトロールをいつまで継続できるだろうか、という不安も募っており、この態勢での保全活動の限界を痛感しているところです。

ついては、尻別川イトウ個体群にとって生命線ともいえる当該自然繁殖河川に対し、河川法第1条、北海道生物多様性保全条例第4条、そのほかの法令にしたがって、より確実性の高い保全・復元対策を実施いただきたく、以下の要望をお伝えします。

1. 絶滅に瀕している尻別川イトウ個体群存続にとって非常に重要な自然繁殖地の保護対策を早急に講じてください。
2. 今季新たに現地に設置予定のイトウ繁殖地保護啓発看板に、貴機関の名義参加をお願いします。
3. 当会が河川管理部局（後志総合振興局）とともに進めている当該河川におけるイトウ繁殖環境復元計画を推進ください。

絶滅危惧種イトウ尻別川個体群の保全・復元のためにさらなるご尽力をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

### 添付資料

北海道生物多様性保全実践活動賞オビラメの会応募書類抜粋（2017）  
オビラメの会「見まもり隊」活動地域図  
イトウ繁殖地保護啓発看板図案  
オビラメの会2018年度活動計画案  
北海道・道内市町村天然記念物リスト抜粋

# 北海道生物多様性保全実践活動賞オビラメの会応募書類抜粋（2017）

---

## (4) 地域の課題に対応したもの 【地域性】

尻別川は流域7カ町村を貫いて流れており、流域各自治体が「尻別川統一条例」を共有しています。当会の働きかけによって、2011年には同条例に新たに生物多様性の保全に関する条文が追加され、イトウ保護が明記されました。尻別川イトウ個体群の復元は、尻別川の生態系保全を願う流域自治体ならびに住民のみなさまの総意です。

---

## (5) 連携・協働、ネットワーク化などを志向したもの 【協働性】

地元のイトウ釣りファンを中心に結成された「オビラメの会」には、当初から生態学者、河川工学者、河川土木企業、環境行政職員、自治体職員、ナチュラリスト、ジャーナリスト、大学院生らがボランティア（志願者）として参加し、地域のほかの環境NGOや河川管理者ら行政機関、教育研究機関などとも連携しながら、尻別川イトウ個体群の復元に向けて多角的なアプローチを重ねてきました。こうした「協働体制」が世界初のイトウ再導入成功に結びついたことは間違いありません。

---

## (6) 今後も継続した活動が期待されるもの 【将来性】

当会は2001年、「オビラメ復活30年計画」を立案し、2030年までの30年間を10年ごとの3つのステージに区分してそれぞれ達成目標を掲げ、2030年までに「イトウがすめる／釣れる尻別川」を再び蘇らせて、グループを散会することを目指しています。2017年現在は第2ステージなかばにあたり、これまでおおむね計画通りに課題をクリアしてきましたが、2020年からの最終ステージに向け、いっそうの活発化が求められています。

---

## 推薦理由

北海道レッドデータ（2001年）が最悪ランクの絶滅危機種に指定しながら、行政機構や法律の狭間におかれ、公的な保護・保全対策が事実上何も講じられていないイトウの尻別川個体群に対し、当会は20年以上にわたる科学的・社会的なボランティア活動で自然繁殖復元にこぎつけ、当面の絶滅の危機を遠ざけることに成功しました。しかし目標とする安定個体群の復元にはまだほど遠く、少なくともさらに10年以上の時間がかかると見積もっています。当会はすでに2030年までの計画を策定してプロジェクトを進めていますが、自治体行政とのいっそうの協働や、流域住民ひいては道民・国民からの勇気づけなしにイトウ生息地の復元は不可能です。本賞が、当会のこれまでの実績を正当に評価し、大勢のボランティアたちのこれからの活動に励ましを与えてくれることを望みます。